患者向医薬品ガイド
2023年6月更新

グルベス配合OD錠

【この薬は？】

販売名	グルベス配合OD錠 GLUBES Combination OD Tablets
一般名	ミチグリニドカルシウム水和物 Mitiglinide Calcium Hydrate ボグリボース Voglibose
含有量 （1錠中）	日局ミチグリニドカルシウム水和物（10mg）／ 日局ボグリボース（0.2mg）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている電子添文を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に電子添文情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、速効型インスリン分泌促進薬／食後過血糖改善薬配合剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、すい臓に作用しインスリン分泌を促進したり、腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせたりして、血糖（血液中の糖分）を下げます。
・次の病気の人に処方されます。
2型糖尿病
ただし、ミチグリニドカルシウム水和物及びボグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る。
・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。

・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・重いケトーシス状態（悪心、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1 型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人

・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人

・過去にグルベス配合 OD 錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

・妊婦または妊娠している可能性がある人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・虚血性心疾患の人

・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人

・消化・吸収障害を伴った慢性腸疾患の人

・ロエムヘルド症候群（胸が痛い、息苦しいなど）の人、重いヘルニア、大腸の狭窄（きょうさく）・潰瘍（かいよう）などがある人

・低血糖をおこす可能性のある人またはその状態の人（脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人、下痢、嘔吐（おうと）などの胃腸障害のある人、栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が十分に摂れていない人または衰弱している人、激しい筋肉運動をしている人、飲酒量が多い人）

・腎臓に障害がある人

・肝臓に障害がある人

・他の糖尿病薬（特にインスリン製剤）を使用している人

・妊婦または妊娠している可能性がある人

・授乳中の人

〇 この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	グルベス配合 OD 錠
一回量	1 錠
飲む回数	1 日 3 回毎食直前

効果的に血糖上昇を抑えるため、毎食直前 5 分以内に飲んでください。

この薬は使用後すみやかに効果があらわれますので、食前 30 分の使用では、食

事開始前に低血糖をおこす可能性があります。

●どのように飲むか？

この薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。
コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。
この薬は寝たままの状態では水なしで飲まないでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。（低血糖を起こすことがあります。）
指示された時間に飲み忘れたら、１回とばして次の指示された時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・低血糖症状（めまい、空腹感、手足のふるえ、脱力感、冷や汗、意識が薄れるなど）があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
・低血糖症状があらわれた場合は、ブドウ糖を飲食してください。
・この薬を使用するにあたっては、患者およびそのご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を 2～3 ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
・授乳を避けてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～

重大な副作用	主な自覚症状
	暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、力が入らない
頭部	意識の低下、急な意識の低下、意識の消失
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、血を吐く
胸部	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい
腹部	お腹がすく、お腹が張る、腹痛、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便やおならが出にくい、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	グルベス配合 OD 錠
形状	円形の錠剤
直径	8.0mm
厚さ	3.9mm
重さ	200mg
色	淡赤白色
識別コード	GBOD

【この薬に含まれているのは？】

販売名	グルベス配合 OD 錠
有効成分	ミチグリニドカルシウム水和物／ボグリボース
添加物	D-マンニトール、アミノアルキルメタクリレートコポリマーE、フマル酸ステアリルナトリウム、カルメロースカルシウム、トウモロコシデンプン、ステアリン酸、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、エチルセルロース水分散液、クロスポビドン、ラウリル硫酸ナトリウム、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、スクラロース、香料、プロピレングリコール、アラビアガム、デキストリン

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：キッセイ薬品工業株式会社（https://www.kissei.co.jp/）
くすり相談センター
フリーダイヤル：0120-007-622
受付時間：9 時～17 時 40 分（土日祝日・当社休日を除く）